



題字 山名一雄

第50号 平成6年1月29日
 発行者 群馬県山岳連盟
 〒371 前橋市大手町1丁目1-1
 群馬県庁観光課内
 TEL (0272) 23-1111
 編集 群馬岳連編集委員会
 責任者 羽野順一
 印刷所 森田印刷

世界初のサガルマータ冬期南西壁 登攀に成功

登山隊長 八木原 罔 明

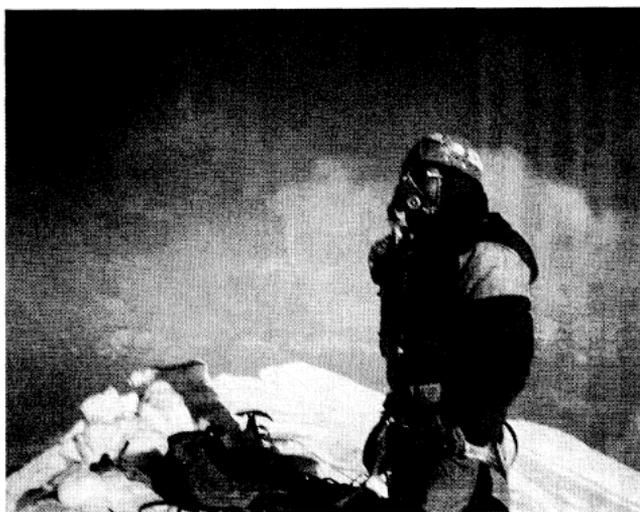
チヨ・オユーも 全員が登頂

に斃れ、初登攀者全員を失くしてしまし、サガルマータ計画の実行は一年延期し、九一〜九二年の冬期に実施した。

岳連会員の皆様へサガルマータ げます。サガルマータ登山は八四年三月心よりの御礼と共に申し上げます。の岳連理事会で十年先を考え、今き上げ、吹き下ろす冷たい風に阻まれてしまふ。

群馬岳連のヒマヤヤが始まってに許可を得ておきたいとし、了解 登山の長期化は高所衰退となつて体力を低下させ、闘志は萎え、志気の低下を引き起こす。どうにもならなかった。一旦廻り出した悪いバターンの歯車は止まらず、

南東稜初登攀、アンナプルナI峰 アンナプルナは二度目の八七年 悪いバターンの歯車は止まらず、南東稜初登攀と、今回の冬期 十二月に四名が登頂するが、下山 どうにもひっくり返せない。二月九日、七十一日間に及んだ登山活動初」を記録することが出来ました。すると悲劇を起してしまう。動にもかわらず断念せざるを得



サガルマータ頂上に立つ後藤隊員

九三年一月、スポニチ東京本社を訪れた星野岳連会長や私共を前に牧内社長は「今度は成功しますよ、応援します」と私共を励まして下さる。その後、本年一月カトマンズまで来られた牧内氏は「もし二度目も登れなければ、三回でも四回でも応援し、群馬岳連と心中するつもりだった」と語った。サガルマータ南西壁を冬期に登るためにはスピーディーな登攀しかない。前回のプレ・サガルマータ登山は、春のカンチエンジュンガだったため、折角の高所順応を冬期の本番に充分に生かし切れなかった。秋がより有利であろうことはわかっていた。



サガルマータ頂上でビデオカメラを覗す星野隊員12/22 3次アタック



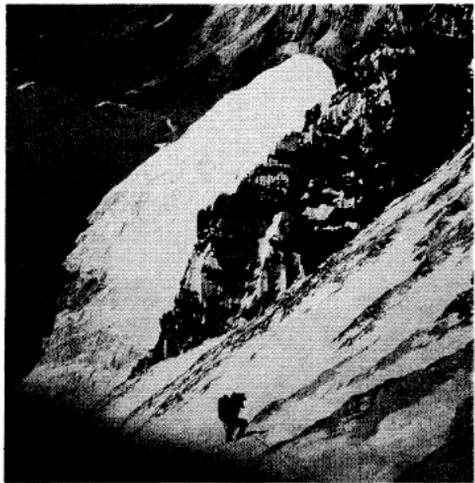
ヒラリーステップ上部より頂上に向う



サガルマータBC (5350m) ~ C1 (6050m) 間のアイスフォール帯



C4上部8400m付近を登る星野隊員



C4 (8350m) 上部を下降する星野隊員

オユーのみの隊員を加え、十二名の全隊員と六名のシエルバを含め十八名が三次にわたって登頂し、まずは初期の目的を達成する。敢えてノーマルルートから酸素を吸い、完全にモンスーンが明けからの登頂は、これまでの数多い私共のヒマラヤの中で最も緊張の少ない楽な登山だった、と云うのが全員の感想である。無傷で疲労を残さずに登るという作戦は見事に当たった。

「七名」というサガルマータ隊員数の枠内に入れなかった寺田、秋山に隊荷のBCまでの輸送を任せ、た隊員達は二十四日間をカトマンズや、さらに海拔の低いインド国境に近いタライなどで過ごせ、体力を回復し、うまく高所順応だ

それでもBC入り前に前回同様ボカルデ・ピーク(五八〇六米)で再度高所順応を図り、万全な態勢を整えて登山開始日を持った。

シエルバにアイソフォルのルー

トワークをさせ、隊員達は十二月一日にC1、C2(六五〇〇米)を建設して一気に入りをし、三日には軍艦岩下に仮キャンプ(六九〇〇米)を建設し、九日にC3(七六〇〇米)を建設した。C3では睡眠時に酸素を吸い、ここからは行動中も全て酸素を吸うことにする。

チヨ・オユーで順応を完璧にした隊員のスピードは目を見張るばかりだった。しかも全員が前回の経験者である。

十三日にC4(八三三〇米)を建設すると前回風でも足も出せ

なかったイエローバンドの突破にかかる。南峰への登攀は前回より多い雪のバンドに助けられ順調に

ルフトワークが進む。

十二月十八日、名塚・後藤パー

テイは南峰レンジ内に三本のロープを固定すると南峰とヒラリス

テップの間のコルに飛び出す。南

東稜に出た名塚・後藤は「耐え難い程の風」の中を頂上に到達する。

あとは押せ押せである。翌日の悪天の中をC4へ入った田辺・江塚が登頂し、尾形・星野が二十二日に登頂し、一時停滞在し、ビデオ撮影にも成功。肋骨を痛めた佐藤を除く七名中六名の登頂は江塚の凍傷を差し引いてもほぼ完璧に近い登山であったと自己評価したい。

○群馬県冬期サガルマータ南西壁登山隊メンバー

総隊長 星野 光(61)

隊長 八木原 罔明(47)

副隊長 尾形 好雄(45)

登攀隊長 名塚 秀二(39)

隊員 田辺 治(32)

江塚 進介(32)

佐藤 光由(32)

後藤 文明(28)

星野 龍史(26)

住吉 仙也(67)

医師



チヨ・オユーC1 (6400m) ~ C2(7000m) 間の氷河台地 (前) 後藤隊員 (後) 佐藤隊員

- チヨ・オユー登山のめ
- 副隊長 宮崎 勉(45)
- 隊員 吉田 文江(38)
- 寺田 勉(25)
- 秋山 剛(23)
- 名が登頂。
- 八木原、宮崎、吉田、寺田、シエルバ四名が登頂。12/3 仮キャンプ(六九〇〇米)建設。
- 12/9 C3(七六〇〇米)建設。
- 12/13 C4(八三三〇米)建設。
- 12/18 第一次名塚、後藤、一五〇米のルートワーク後登頂。
- 12/20 第二次田辺、江塚登頂に成功。
- 12/22 第三次尾形、星野登頂に成功。
- 12/27 BC撤収。
- ※細部にわたる報告は次号の嶺呂五十一号で報告する予定にしております。
- 10/11 田辺、江塚、シエルバ二
- 12/1 C1(六二〇〇米)、C2
- 9/17 先発隊五名BC(五六五〇米)入り。
- 9/25 C1(六四〇〇米)建設。
- 9/27 C2(七〇〇〇米)建設。
- 10/4 C3(七六〇〇米)建設。
- 10/8 尾形、名塚、佐藤、後藤
- 11/21 11/23 隊員がBC集
- 星野、秋山六名が登頂。
- 12/1 C1(六二〇〇米)、C2

第四回山田昇記念杯 登山競争大会報告

総務部 千明 政彦

平成五年九月二十六日(日)こ加申込数百二十八人、欠席者十五人、三枝賞には八十二人(参加した驚異的な走りに本部役員、一般のひとが無線に耳を傾けている。十時四十二分に山田選手がゴールに飛び込んできた。タイムは二時間十二分〇一秒。やはり重のコー

がこの川場の地に集まった。

午前五時三十分、キャンプ場下の駐車場で受付を待つ選手で早くも賑わっている。だいぶ馴染みの顔も増えてきた。

山田杯 1位山田選手のゴール

田中成幸大会委員長の開始宣言が始まり、山田選手は山田杯の返還があり、星野光大会会長の挨拶、地元川場村の横坂太一村長から歓迎のことばがあった。

開会式終了後選手は各マイクロバスに分乗し、スタート地点へと向かった。山田杯は八時三十分、三枝杯も八時四十分それぞれスタートのピストルが鳴らされた。

今年も大きなけが人も出ず無事競争を終え、閉会式を迎える事が出来た。高田競技部長の講評。松田審判長が成績発表をし、各賞の授与が行われた。今年には特に一般の部にもたくさん賞品を用意しておいたので最後まで盛り上がり

今年には三枝賞出場の竹測工選手が途中経過の無線連絡で本部を賑わしてくれた。山田さんのタイムに



山田杯スタート



山田杯 1位山田選手のゴール

は一步及ばないが、高校生離れした驚異的な走りに本部役員、一般のひとが無線に耳を傾けている。十時四十二分に山田選手がゴールに飛び込んできた。タイムは二時間十二分〇一秒。やはり重のコー

第4回山田昇記念杯(三枝賞)成績表

第4回山田昇記念杯(山田杯)成績表

順位	タイム	氏名	性別	年令	所 属	順位	タイム	氏名	性別	年令	所 属
1	2時間12分02秒	山田 豊	男	46	沼田山岳会	1	2時間29分40秒	竹 測 工	男	18	群馬県立中之条高校
2	2時間19分52秒	藤 卷 輝 之	男	29	山梨県山岳連盟	2	3時間10分08秒	青 木 徹 之	男	17	群馬県立沼田高校
3	2時間20分43秒	武 田 真 二	男	33	自動車電機福高	3	3時間18分03秒	富 沢 彰 之	男	15	群馬県立勢多農林高校
4	2時間22分42秒	草 野 延 孝	男	43	丹沢山小屋組合	4	3時間23分22秒	小 池 藤 夫	男	16	群馬県立中之条高校
5	2時間31分58秒	スチュワートイアン	男	23		5	3時間24分40秒	千木良 孝 祐	男	17	群馬県立利根実業高校
6	2時間34分31秒	松 田 早 苗	女	22	山梨県山岳連盟	6	3時間30分01秒	田 中 正 樹	男	16	群馬県立安中実業高校
7	2時間36分14秒	田 村 とみ江	女	31	オルゴール館椎坂	7	3時間31分01秒	佐 藤 利 雄	男	16	群馬県立安中実業高校
8	2時間36分44秒	松 本 博 明	男	37	玉村クラブ	8	3時間32分16秒	大 塚 裕 裕	男	16	群馬県立中之条高校
9	2時間38分00秒	中 高 剛 二	男	31	沼田山岳会	9	3時間34分26秒	石 井 早 苗	女	17	群馬県立沼田女子高校
10	2時間39分18秒	木 田 幸 二	男	32	山梨県山岳連盟	10	3時間36分08秒	岡 田 英 之	男	16	群馬県立中央高校
11	2時間40分10秒	新 井 洋 一	男	23	D・O・CLUB	11	3時間37分27秒	佐 藤 順 一	男	16	群馬県立渋川工業高校
12	2時間42分35秒	合 田 育 生	男	22	法政大学ワンダーフォーゲル部	12	3時間38分42秒	河 原 智 一	男	17	群馬県立中央高校
13	2時間43分08秒	粕 川 嘉久治	男	42		13	3時間40分32秒	大 河 原 育 子	女	17	群馬県立富岡東高校
14	2時間43分58秒	赤 松 久 宇	男	30	太田山岳会	14	3時間43分01秒	宮 崎 佳 恵	女	16	群馬県立吾妻高校
15	2時間45分03秒	菅 谷 良 信	男	21	法政大学ワンダーフォーゲル部	15	3時間48分50秒	木 暮 充 史	男	15	群馬県立中央高校
16	2時間45分55秒	坂 田 優 人	男	58	栗野山岳会	16	3時間49分35秒	狩 野 由 夏	女	17	群馬県立沼田女子高校
17	2時間53分27秒	岩 川 修 平	男	34	大空土木	17	3時間52分51秒	磯 部 健 太	男	17	群馬県立伊勢崎東高校
18	2時間55分26秒	富 岡 征 雄	男	48	丹沢山岳会	18	3時間54分11秒	齋 藤 藤 和	男	17	群馬県立勢多農林高校
19	2時間56分41秒	望 月 泰 孝	男	43	山梨県庁	19	3時間55分14秒	黒 沢 利 美	女	16	群馬県立安中実業高校
20	2時間57分24秒	梶 山 忠 裕	男	23	桐生山岳会	20	3時間55分43秒	塩 野 史 生	男	15	群馬県立渋川高校
21	2時間59分03秒	阿 部 源 真	男	40	大間々山岳会	21	3時間55分49秒	千喜良 孝 行	男	16	群馬県立利根実業高校
22	2時間59分15秒	須 藤 真 真	男	35	水上町役場	22	4時間01分32秒	花 房 愛 愛	女	15	群馬県立吾妻高校
23	2時間59分56秒	有 泉 多佳子	女	30	山梨県山岳連盟	23	4時間11分37秒	滝 沢 芳 幸	男	17	群馬県立渋川高校
24	3時間01分51秒	田 中 謙 章	男	40	平成山岳会	24	4時間12分08秒	石 坂 淳 男	男	15	群馬県立渋川高校
25	3時間02分27秒	金 子 喜一郎	男	31	水上町役場山岳部	25	4時間14分02秒	角 田 淳 崇	男	15	群馬県立渋川高校
26	3時間05分06秒	大 堀 努 平	男	28		26	4時間17分21秒	林 俊 彦 彦	男	17	群馬県立沼田高校
27	3時間05分36秒	高 橋 洋 平	男	19	法政大学ワンダーフォーゲル部	27	4時間21分28秒	黒 岩 伸 郎	男	17	群馬県立沼田高校
28	3時間09分23秒	中 村 庄 八	男	40	群馬県立中之条高校	28	4時間22分24秒	柳 澤 伸 卓	男	15	群馬県立安中実業高校
29	3時間10分10秒	中 沢 安 信	男	50	伊勢崎山岳会	29	4時間22分53秒	青 柳 辰 典	男	17	群馬県立沼田高校
30	3時間12分13秒	中 高 博 恵	男	38	沼田山岳会	30	4時間22分53秒	中 村 岳 志	男	15	群馬県立沼田高校

技術と信用で地域社会に貢献する
総 合 建 設 業

萬 屋 建 設 株 式 会 社

取締役会長 星 野 光

本 社 群馬県沼田市下之町880番地 TEL 0278(23)4648(代表)
支 店 東京都豊島区東池袋4-2-7 TEL 03-985-7631



地元川場村横坂太一村長の歓迎のことは

平成五年十月三十一日(日)に碓氷郡妙義町で第十七回県民登山大会が開催された。今年には安中山の会、松井山岳会、群馬独峰会が早くからコース調査、整備等の準備をしてくれたので、大会もスムーズに行えた。また岳連外でも富岡のモンテローザの会の方々にはコース役員、受付等で大変お世話になった。

コースルート
A1 駐車場→妙義神社→大の字→奥の院→白雲山→相



三枝賞 1位 竹瀬選手のゴール

一般参加者は二百二十一名、役員六十一名の総勢二百八十二名という過去最高参加人数の大会となった。駐車場にて午前七時から受付を開始し、七時三十分より開会式とを行なった。小林三雄岳連副会長の挨拶と地元妙義町の森田博教育長の歓迎の言葉があり、妙義町の多大な協力に対して、山岳連盟より感謝状が贈られた。次いで田中成幸大会委員長より挨拶ならびにコースリーダー紹介があり各リーダーがコース説明、注意点を話し、それぞれの山へ向かった。

第十七回県民登山大会報告

総務部 千明 政彦

- A2 駐車場→中間道→タルワキ
- B 駐車場→妙義神社→大の字
- C 駐車場→金鶏山登山口→鎮



今年には各コース共に参加人数が多く、予定通りには運ばずコースの短縮を余儀なくされた。結局A1コースも白雲山からタルワキ沢へエスケープルートと予定通りのコースの二つに分かれた。A2コースはまずまずで、Bコースは大きな字を登る人が多く、ここでもかなり時間を費やした。Cコースは健脚コースとして人数の制限(三十名)をしたので一番スムーズに流れた。成五年十一月十四日(日)九時三十分前には無事下山して、恒例の美味いいきの汁で体を暖めることが出来た。

の短縮を余儀なくされた。結局A1コースも白雲山からタルワキ沢へエスケープルートと予定通りのコースの二つに分かれた。A2コースはまずまずで、Bコースは大きな字を登る人が多く、ここでもかなり時間を費やした。Cコースは健脚コースとして人数の制限(三十名)をしたので一番スムーズに流れた。成五年十一月十四日(日)九時三十分前には無事下山して、恒例の美味いいきの汁で体を暖めることが出来た。

指導部報告

クライミングフェスティバル

県民登山大会開会式

九四年版の岳連カレンダーが出版、九月の理事会の席で各山岳協会へ配布しました。

開東地区山岳連盟連絡協議会群馬担当で開催予定

九四年版の岳連カレンダーが出版、九月の理事会の席で各山岳協会へ配布しました。今年々岳連カレンダーもPRされ、人気も広がり、ここ数年部数の不足が見られ、岳連外からの申し込みには応じられなくなり、五年度の総会の席上で五〇〇部の増刷が認められ九四年版については二〇〇部の製作をしました。各会への配布後、新聞等による申込、女屋等志方岳連事務局へ

事業部報告

(カレンダー発行について)

開東地区山岳連盟連絡協議会群馬担当で開催予定

美と健康のお手伝い

ブリジストン自転車
ナショナル自転車
ホンダのオートバイ

一流メーカーは安心です

ヤギハラ

前橋市下細井町139-3
TEL 0272-31-1308

有限会社 山とスキーの店 石井

Dream BOX

伊勢崎市宮子町78街区1819-1
TEL.0270-21-8025 FAX.0270-21-8026